



出版 NPO「本をたのしもう会」
スペシャル・トーク 2019

カン サンジュン

講師 姜尚中さん

いま、なぜ漱石かーアジアの漱石

今回のスペシャル・トークでは、漱石好きを自認し、漱石を生きる支えにしてきたという政治学者・評論家の姜尚中さんを迎え、一〇〇年以上読み継がれてきた国民文学作家、夏目漱石の知られざる側面、新しい魅力について語っていただきます。

日時 | 2019年 2月11日 (月・休日) 午後2時~4時
(開場午後1時30分)

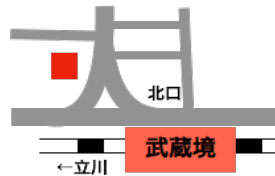
会場 | 武蔵野スイングホール・レインボーサロン (南棟11階)

JR中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」北口下車徒歩1分

参加費 | 1,000円 (学生500円)

受付 | 先着130名 (全席自由席)

主催 | 出版NPO「本をたのしもう会」



漱石は明治維新の前年に生を受け、日本の近代化と歩みを共にしながら、作家としてまた文明批評家として、数多くの小説、随筆、評論、書簡、俳句、漢詩作品を遺しました。

イギリスに留学し西洋近代の光と影を体験するなかで、近代社会の矛盾や問題点、近代化の行く末を鋭く見抜き、近代化が進む中で生じる様々な葛藤や人間の根源的な生きづらさを、ごく普通の人間関係の中で描き出すとともに、東西両洋の文化を相対化しながら、日本人としてまたアジアにいる人間として、いかに生きるべきかを真剣に考えつづけました。

今回の講演では、漱石の魅力を「非欧米世界における近代化の葛藤」という視点から浮き上がらせ、さらに現代中国文学の父たる魯迅、韓国の漱石と称される李光洙らに対する漱石の強い影響関係を明らかにし、東アジアの共有財産としての「漱石文化」について考えます。漱石の足跡をたどってロンドンや満州、韓国を訪ね歩いた経験を持つ姜さんならではの、オリジナルで刺激的な考察です。

講師紹介 ■ 1950年生まれ。東京大学名誉教授。専攻は政治学、政治思想史。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。国際基督教大学準教授、東京大学大学院情報学環教授、聖学院大学学長などを歴任。現在、熊本県立劇場館長兼理事長、鎮西学院学院長。国際政治から社会問題、文芸、芸術にいたるまで幅広くカバーし、論客としてテレビ・新聞・雑誌などで活躍。穏やかな語り口と該博な知識、独自の視点からの鋭い議論で好評を博す。

著書に『マックス・ウェーバーと近代』『オリエンタリズムの彼方へ』『ナショナリズム』『日朝関係の克服』『姜尚中の政治学入門』『愛国の作法』『維新の影ー近代日本150年、思索の旅』等のほか、ミリオンセラーとなった『悩む力』や、『心の力』『悪の力』『君に伝えたいこと』『漱石のことば』『姜尚中と読む 夏目漱石』等多数。その他、小説仕立ての作品『母ーオモニー』『心』や最新エッセイ『母の教えー10年後の「悩む力」』がある。